

# 義太夫

## 新年にあたって

義太夫協会会長 田 辺 秀 雄

明けましてお芽出度うございます。旧年中は協会共々種々お世話に相成り、まことに有難う御座いました。本年もまた宜しくお願い申し上げます。

私も昨年は満八十才の太夫を越え、仕事の総決算もしなければならぬと思い、今まで書庫や部屋に積み重ねていた資料、書籍、楽器その他の整理の為に、築後七十五年の傾いてしまった旧宅をすっかり建て直しました。何しろ親子で百年近くも溜めに溜めたものですから、その数はちょっとした音楽図書館及び博物館並になるほです。いずれしかるべきところにまとめて寄付するつもりですが、

その為にも今は整理の必要があるのです、それに精力を使わされています。

義太夫節に関しても、種々な書籍、雑誌、資料、明治以降のレコード、などがあります。

古い見台まで昔古道具屋で探したものも含めて、いずれ整理がついたら御参考にお見せしたいと思っています。義太夫協会にしても任意団体時代の設立当時（昭和三二年）の書類や会報の初期のものも出て来しました。その頃の会員で今でも活躍して居られる方はもう少なくになりましたし、また名前も代がわりしています。会員名簿を見ますと名誉会長として河竹繁俊、顧問には前会長の吉川英史の他、

### 義太夫協会会報 第58号

平成6年1月1日

社団法人 義太夫協会発行  
〒104 東京都中央区銀座  
6-18-2 新橋演舞場B2  
TEL (3541) 5471

亡父田辺尚雄の名も載っています。私が二五年後会長を引受けたのも何らかの因縁でしょう。当時の正会員は男女同数で、舞台にも入交じって出演されていたようです。これも昭和四五年には任意団体から今の社団法人に改組されました。続いて義太夫節保存会が作られ、無形文化財としての団体指定を受けました。私が文化財保護審議会の専門委員になったばかりの頃の話です。

さて昨年一杯で事務局の水野悠子さんがお止めになりました。家庭の御都合ということ。水野さんは昭和四八年以来二十二年に亘って協会の事務を担当され、以後事務局長をよく助けて会務の他、会報、毎月の例会やその出演交渉、義太夫教室、学校巡演その他もろもろの面倒な仕事を実に精力的にこなして来られました。その勤務は昼間だけでなく、夜間にも遅くまで電話に取付かねばならぬということが始終あったと聞いています。私が吉川前会長から後任を依頼された時、この協会は事務局がしっかりしているから何の心配もいらないと言われました。実際協会の発展の為に彼女の貢献は大きいものがあります。しかしそれだけに御家庭に対する負担は想像に余るものがあつたと聞き、まことに残念なことですが、やむを得ないものであると思います。今後の御幸福な家庭生活を祈ります。水野さんの協会への功績に対し、本年度の仙廣賞を贈ることになりました。永い間本当に御苦勞様でした。

# 賀春 年賀状

あけましておめでとうございます。

自筆、代筆(?)、イラスト、口述筆記、

要旨のみ、行替え・句読点の指定つき、

メモ、ハガキ、ファックスと、様々な

形の年賀状原稿が集まりました。

編集部はひと足早い年賀状を楽しめる

という役得を味わわせて頂きました。

尚、寛輔、寛也は師・鶴澤寛八の喪

中につき年頭の御挨拶は御遠慮させて

頂きました。

(編集部)

## △女流義太夫△

謹賀新年

荒波の中をこぎつづける小舟にも似た女流

義太夫。どうぞ今年も無事な航海相成ります

様、皆々様の御助力をひたすらお願い申し上げ

げます。

竹本 朝重(みずがめ座)

慎んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方の御多幸をお祈りいたします。

竹本 朝輝(しし座)

おめでとうございます。皆様よいお年をお迎  
えの事とおよろこび申し上げます。多難の年  
となる事でしうが、どうかよろしくお願い  
申し上げます。

竹本 綾一(てんびん座)

今年も楽しく過ごせたらいいと思います。  
いっしょうけんめい勉強したいです。

竹本 綾貴世(やぎ座)

初心にかえって……

春華先生、いつまでもお元気でいて下さい。

竹本 華昇(うお座)

あけまして

おめでたい!!

kyo



竹本 越京(しし座)

あけましておめでとうございます。今年こそ  
義太夫でたべて行きたい!

(問)アレーたしか去年も同じことを……

答)イイエ去年は今年からでした。)

竹本 越孝(いて座)

新たな弟子ができたので、老骨にむち打って  
がんばります。どうぞよろしく。

竹本 越道(みずがめ座)

昨年はジェットコースターに乗って「キャーッ」という綱を引き裂く悲鳴をあげようとしたら「ウォーッ」の雄叫びになってしまった。そして随分オカマと間違えられた。原因を考えると女らしくしようとしたからだ。オカマは女らしくしようとする、ここがポイントだ。よし、今年は無理せず、ナチュラルに生きるぞ!

竹本 越若(みずがめ座)

あけましておめでとうございます。

本年もよろしくご指導下さいます様お願い致します。



竹本 駒輝(やぎ座)

アラ、本牧から国立になってもう四年目になるんですか、ホントに早いわね。若い人たちに、どんどんがんばって貰わなくちゃね。

竹本 駒龍(かに座)

国立公演という大切な砦を守るべく今年も頑張ります。また、五人の新人が初春公演からお仲間に入れて頂くことになりました。とてもども、どうかよろしくお願い申し上げます。

竹本 駒之助(おとめ座)

新しい家で新年を迎えました。気持をひきしめがんばりたいと思います。新しい出会いに期待をしています。よろしくお願い致します。

竹本 土佐恵(いて座)

新年おめでとうございます。

世の中不況、私共の状況もきびしい環境ではございますが、あすを目指して精進いたしたいと存じます。

竹本 土佐子(さそり座)

去年は身に余る光栄で、有難いやら勿体ないやら……義太夫できるかぎり頑張りますからね、どんな役でも言って下さいヨッ。今年もどうぞよろしくッ！

竹本 素八(みずがめ座)

六年ぶりに東京の家に落着きました。でもそれが義太夫に結びつかないあたり、辛いところ。私の戦いはまだまだ続きます。

竹本 素丸(みずがめ座)

明けましておめでとうございます。体力をつけて頑張ります。

竹本 弥栄(てんびん座)

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくおねがい申し上げます。

竹本 弥吉(いて座)

皆様にとってワン・ダフルな年であります様、お祈り申し上げます。今年も精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

竹本 佳之助(しし座)

昨年はお世話になりました。愛猫亡き冬はとても寒く感じますが、今年も真面目にがんばりたいと存じます。東京ディズニーランドの花火の音だけ聞える我家より新年のお慶びを申し上げます。

鶴澤 駒治(みずがめ座)

昨年は、七月にしばらくぶりで出させて頂きましたら、皆様に太った太ったといわれました。近々に目の手術をする予定です。またよくなりましたら出たいと思っております。

鶴澤 駒登久(おとめ座)

今年も皆様にお目にかかれますのを楽しみに大津から東京へ参りたいと存じます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

鶴澤 重輝(ふたご座)

御蔭様で丸三年がたちました。落ちこぼれぬ様、何とか体力をつけがんばりたいと思って居ります。どうぞ今年もよろしくお願い致します。

鶴澤 寿々方(うお座)

明けましてお芽出とうございます。老いて尚今年も芸を磨き、文化発展と後継者育成に心血をそそぎ、それには先ず健康管理に留意し小肉多菜等の中国十訓を守りたいと頑張っております。

鶴澤 友路(いて座)

昨年は体調をくずさぬよう気を配りながらなんとか無事にすぎました。今年は、妹弟子たちがドッとデビューしますので、ともどもよろしくお願い致します。

鶴澤 津賀寿  (しし座)

今年は落ち着くところに落ち着きたく思っています。ウフフフ……………世紀末で人の心も荒れがちですが、どうぞ平安を！

鶴澤 悠美(うお座)

昨年は思いもかけない喜びで、これも三味線のおかげと本当に有難く思っています。体の続くかぎり弾かせて頂きたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

豊澤 源平(さそり座)

やるっきゃない!!

この土井たか子さんの言葉をもって、迎える新年の多事多難も乗りきりましょう!!

豊澤 幸治(おとめ座)

はやく舞台で弾けるように、体を整えたいと思います。おかげさまで、教室出身の生徒さんのお稽古は、楽しくさせていただいております。

野澤 錦輝(やぎ座)



△竹本・歌舞伎義太夫ほか男性会員▽

謹賀新年

実ニ音曲の賑々といつまでつきぬ竹本の其一節に世を込めて幾万歳と祝いける……………義太夫「四季の寿」より借用して御年の詞にしました。

本年も丸本歌舞伎のために頑張る事の叶いますよう皆様の御健康と共に祈念し奉ります。

竹本 清太夫(みずがめ座)

明けましておめでとうございます。まずは体調を崩さぬよう、十分心がけるつもりです。本年もよろしくお願い申し上げます。

竹本 道太夫(おうし座)

本年は戌年、江戸いろは歌留多「犬も歩けば棒に当たる」は善悪二つの解釈があるようです。動き回れば思いがけない幸運にぶつかる、積極的に行動すれば意外な利益を見つけるものであるという、よい意味に解釈して、大いに飛躍の年にしたいと思っています。

竹本 弥乃太夫(さそり座)

昨年度立の竹本研修を終了した新人です。研修中よりお世話になりました協会会員の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

鶴澤 慎治(てんびん座)

世界人類が平和でありますように。

鶴澤 寿治郎(いて座)

お戌様  
今年もどうぞよろしく!!

鶴澤 正一郎(みずがめ座)

明けましてお目出度う。

義太夫の三味線は世界優秀の楽器です。古典芸能を守り、育て下さい。お願い致します。

豊澤 瑩緑(やぎ座)

気分あらたに  
古典義太夫に  
初張り願ひ  
犬年元旦

豊澤 重松(しし座)

あまり無理をしないようにしています。皆様も、健康には充分お気をつけてよいお年を迎え下さい。

野澤 吉平(いて座)

△八王子車人形▽

会員の皆様おめでとうございます。

昨年は芸術祭初参加でお世話になりました。今年は古典と新しい作品と、伝統を守りながら座員の指導と、人形制作にがんばります。

四代目家元 西川 古柳(しし座)

昨年、一昨年と好評でしたので、今年も星座の特徴を載せました。7頁も御照下さい。

【速報】八王子車人形西川古柳座は、「宗吾と甚兵衛」で芸術祭賞(演芸部門)受賞が決まりました。

## 慶事 あいつぐ

## —文化の秋—

「竹本素八叙勲記念」の行なわれた10月22日夕刊、吉川英史名誉会長の文化功労者決定の第一報を契機として、義太夫協会関係者に慶事があいつぎました。11月3日、秋の叙勲では、景山正隆監事の勲四等双光旭日章、豊澤源平理事の勲五等瑞宝章。11月18日には鶴澤重輝理事（義太夫節保存会技芸員代表）が平成5年度文化庁長官表彰者に選ばれたとの新聞発表。たてつけに朗報が飛びこんできた昨年の秋でした。

## 吉川英史名誉会長 文化功労者

地唄の富山清琴・日本画の平山郁夫・大衆演劇の山田五十鈴各氏ほか14名の方々と共に、義太夫協会名誉会長・吉川英史氏が文化功労者となりました。ここに吉川名誉会長の御挨拶状を転載させて頂き、いっしょにお慶び申し上げます。

尚、本年2月13日、85才の誕生日に、祝賀の会が、また義太夫協会9月公演に於いて記念講演をされることが決まっています。

謹啓 菊薫る秋冷の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私ことこのたび図らずも、文化功労者に決定され、

十一月四日国立教育会館に妻同伴、顕彰式に出席し、引き続き文部大臣の午餐会に列席いたしました。そのあと、更に皇居に参内し、天皇陛下お招きのお茶の会において、両陛下に紹介され、お言葉を賜りました。光栄の極みに存じました。

申し遅れましたが、この慶事発表早々、お祝辞やら祝電やら、ご芳志を頂戴致しまして、誠に有り難く、且つ恐縮に存じております。

このたびの顕彰は、単に私個人の名誉に止まらず、日本の伝統音楽研究の意義及び、伝統音楽振興発展の重要性が国家的に認められたものとして、誠に慶賀に堪えません。

幸い、年齢の割には身心共に健康でございますので、このたびの栄誉を励みとして、なお一層研究に精進いたし、伝統音楽の発展に貢献いたす所存でございます。まずは御礼のご挨拶まで。

平成五年十一月吉日

吉川 英史

敬具

女流義太夫演奏会が本牧亭から国立演芸場に移ってから、豊澤源平師の活躍が目だっています。その源平師の叙勲は「喜怒哀楽を音色で表現」「音色に70年の重み」「義太夫節

を子守歌に 戦死した夫の分まで」と、写真入りで各紙に大きく報道されました。

景山正隆監事は、歌舞伎音楽と地方歌舞伎の研究というライフワークに、しばしば東京を留守にしてお忙しい毎日です。

鶴澤重輝理事（義太夫節保存会技芸員代表）は、一竹辻が花染・久保田一竹、劇作家・寺島アキ子、小唄千紫派家元・千紫千恵、紫派藤間流家元・藤間紫各氏ほか21名の方とともに、平成5年度文化庁長官表彰を受けました。



表彰式にて 鶴澤重輝師

1993.11.25

“女流義太夫共和会あれこれ” 改メ

## 本牧亭女義あれこれ(八)

竹本綾太夫

この駄文の連載も第八稿ともなると、共和会時代(昭和35年3月〜45年6月)の枠をハミ出ること多く、それならいっそ幅を拡げて、戦後の女義活動の中核をなす、本牧亭時代のあれこれにしようと勝手に決め、タイトルも変更させていたゞいた。

全体を一段とすると、(前)は昭和26年から34年迄の約8年(素女期と二代目綾之助期の二区分)、(中)は共和会時代の十年余、(奥)は以後平成元年の閉鎖迄の19年位(旧本牧亭での四日間の各組競演という共和会組織延長期の約二年間。本牧亭改策の間、浅草の雷中会館で二日間づつ興行した浅草時代の八ヶ月。祝新装本牧亭興行の47年11月から二日間づつ、閉鎖迄の約17年間。の三分区)である。(前)と(中)は、自主独立採算制の約19年、(奥)は協会公演部となつての19年余である。

その一段を順を追うて書きたいのだが、なにしろ(前)の部分は、少しづつ集めているとはいへ資料不足。そこであれこれという位だから、思いついた分から書くことに決め、今回は(奥)の第一区分期、会報のボツ寄稿(編集遅れで時機を失したもの)の中に、当時の本牧

亭女義のありさまが偲ばれる一文があったので、遅れること20年余、しかも抜粋で掲載することにした。寄稿者様ごめんなさい。

猛暑忘れて、太夫さんの敢斗

頭の下がる大熱演ノ

八月の「女流義太夫」公演から――

――ひぐらしや午睡の夢の暑さかな――

暦の上では、すでに立秋を過ぎたが、八月の東京は、毎日カン／＼照りの暑さである。こんな時には、欲／＼離れて、ゴロリと横

になって、しばし手枕の午睡を楽しみたい。そのウダルような連日連夜の暑さを忘れさせてくれたのが、今月の本牧亭公演である。

俗に、二ッ八は とかく気になる鬼門月というやつで、どうかと思っていたが……。

この暑さにも拘らず、客の入りは先ず先ず。そして一日目は(中略)可もなく、不可もなし、この暑さの中で、これ以上のものを求める方が、やばというものであろう。

ところが、どうだノ二日目は(中略)前夜

とは打って変って「これは……」と、思わず目を瞠るばかりの気の入れようである。

何れも、可／＼な耳たぶをホンノリと紅潮させ、花のかん／＼せから襟許、美しい肩衣姿を玉の汗で濡らし、文字通り、これでもか、これでもかといった大熱演なのである。

こうなると、人間なんて全く現金なもの、嫌でも客席が湧かぬ筈はない。それでなくてさえ、この暑さにもめげず、毎晩よもやに駆られて足早に突／＼掛けてくるどうする連のことだ。「よう／＼」「大当りノ日本一ノ」

などと、盛／＼に拍手と、色々の声援が乱れ飛ぶのも、まさに当然といえよう。(中略)――これだから、やめられぬ。阿々々……。

へ中略ノこういう若手の有望な太夫さんが健在であるということは、協会は勿論、私ども愛好家にとっても大変嬉しいことである。

「来月は、どんな顔ぶれで？」  
と、新秋九月の公演が楽しみである。

油照り 肩衣濡らす玉の汗――

十日深更 (胡遊子)

この(胡遊子)さんについては、私も心当りの方がいるが定かでない。もし御存知の方がおられましたら、お知らせ下されば幸甚。

この「猛暑の八月」とは、昭和46年8月1日から4日のことで、共和会組織の桐組(越駒・越道・駒竜)に、素八・朝重・綾一参加、三味線は三生・仙広・駒登久・清三、4日目のキリは土佐広・春駒・越道・三生に依る「河庄」の掛合、という豪華版である。

「暑きこと蒸し風呂の如く、寒きこと北極の如し」と謳われた、旧本牧亭興行の一端が窮われる。「有望な若手」とは朝重・綾一のことだが、「可れんな耳たぶ」とか「花のかんばせ」等は、当時50代後半の越道・素八・駒竜などの人を指している。(胡遊子)さんは、その人達の娘時代から見守り続けているかなり年配の方であろうと推察したが如何なものであろう。ともかく、こうしたお客様に支え続けられたからこそ、現在がある。有難いことである。入場料四百円、番組は表が緑色で人形の白ヌキの二ツ折、中は書き版摺りという頃のお話である。——つづく——

## 第九回豊澤仙廣賞は

### 水野悠子事務局員に

河野国声常任相談役の提唱を受けて、豊澤仙廣師(もと義太夫協会副会長・義太夫節保存会会長)の功績を記念して昭和61年に創設された「豊澤仙廣賞」、平成5年度受賞者は事務局の水野悠子に決定いたしました。副賞は、株式会社十全を通じて毎年河野国声氏より授与されています。

水野事務局員は、昭和48年12月から昨年12月末日の退職まで20年間在職、その永年の勤続に対し「第九回豊澤仙廣賞」が贈られたもの、演奏家以外では、第五回(小林トシ子・戸叶琢通)以来の受賞になります。

(追記)昭和48年の師走興行から、協会事務局の水野悠子さんが携わるようになり、以後永年に亘って我が事のように女義の為に盡くしてくれた。興行は、演者とお客様だけで成立つものではない。事務局に人を得なければうまく行かぬ。殊に国立演芸場に変った平成女義の一先ずの成功は、彼女の陰の力大なるを誰しも認めるものである。

一身上の都合で、昨年の師走興行を以って退職されたが、後継ぎの秋山寿美子さんに、半年に亘り、しっかりと後事を託してくれた。玆に、女義振興に携わる一員として、深甚なる謝意を表するものである。有難う……。

## 芸団協助成新人奨励賞

### 竹本佳之助に決定

3月22日 演芸場で祝う会

平成5年度芸団協助成新人奨励賞は、竹本佳之助(竹本駒之助門下)に授与されることに決まりました。

日頃、鶴澤重輝師の身の回りの世話を一手に引受けているのが佳之助、3月22日の祝う会では、体調がよければ、重輝師が三味線を勤めるといふ御褒美が用意されています。

### 【竹本佳之助略歴】

昭和53年 義太夫教室第30期修了

竹本駒之助に師事

61年 竹本駒之助門人となり佳之助

63年 本牧亭にて初舞台

## 【付録】ひとくち年賀状(2〜4頁)

### お楽しみ参考資料

おひつじ座 負けず嫌い、リーダーシップがある、おてんば

おうし座 ウジしやすい、優柔不断、自分の主張を始めたら絶対ゆずらない

ふたご座 つきあいがいい、いつも面白いことを探している、発想が豊か

かに座 神秘的、3時のワイドショー大好き

しし座 いつもスポットライトをあびたい、純粋、少々の失敗には動じない

おとめ座 神経質のくせに他人には冷酷、知りがり、優等生、計画を立てた

てんびん座 ソフトな雰囲気、ハキ明るく前向き(なイメージ)

さそり座 情にあつい、生真面目で融通がきかない、今年は特にgood

いて座 目標をきめたらまっしぐら、根は素直、度胸がいい、自由人

やぎ座 地味、信頼を得る、ハメをはずさず情に流されない、社交性には欠ける

みずがめ座 ユニーク、頭でっかちな性格常識にこだわらない

うお座 経済観念がない、見返りを期待しない、サービス精神旺盛

【昨年とは、別の説です。昨年のものも参照すると、結構おもしろいかも?】

# 協会の動き

## 「平成5年」

9月22日

公演部会

於国立演芸場

22日

教師のための義太夫講習会「初代竹本義太夫の命日に因んで」竹本義太夫の芸談」企画・構成・講演

吉川英史 八王子車人形・西川古柳座特別出演 於国立演芸場

9月25日

祖先祭 初代竹本義太夫はじめ義太夫関係諸先輩の墓参ならびに法要。

写真は河野国声常任相談役(左) 於回向院

吉川英史名誉会長(右)



祖先祭スナップ

一昨年春、回向院の墓地の大整理が行なわれ、義太夫関係者は、初代竹本義太夫を中心

'93 年 9 月より  
'94 年 1 月まで

に一ヶ所にまとまりました。昨秋、六世竹本津賀太夫師の墓石も初代のすぐ脇に移され、11月28日、御親族と津賀太夫師ゆかりの義太夫人とで、師の五十回忌の法要が行なわれました。50年前僧侶になってまだ日の浅かったという第23世御住職自らの説経に、御親族は大感激でした。

9月29日 平成5年度公益法人概況調査票

10月8日 東京都教育庁に提出

10月6日 常務理事会 於文明堂

10月7、11日 女流後継者育成事業 七福神研修(野澤喜左衛門師指導) 於布善俱樂部

10月13日 普及部会 於国立劇場

10月20日 平成6年度芸術文化振興基金助成活動募集に関する説明会 於国立劇場

10月22日 女流義太夫演奏会「竹本素八叙勲記念」企画・構成・池田弘一 於東京大学工学部

10月25日 龍斎貞山特別出演 於国立演芸場

わずか14才で、バスケットひとつぶらさげて単身上京し、義太夫の世界に入った竹本素八師、叙勲記念公演ではその60年以上も前のバスケットを傍らに置いて御挨拶をして、大満員のお客さまから、大きな大きな拍手が送られました。

尚、叙勲の内祝にと、竹本素八師より、20万円の御寄付を頂戴いたしました。



これがそのバスケット

神田外語大学広報部撮影

10月25日

平成5年度民間芸術等振興費補助金交付決定額内示

10月27日 平成5年度芸術文化振興基金助成  
金交付決定通知

10月28日 文化財保存事業費国庫補助金交付  
決定通知

28日 文化財保存事業費国庫補助金支払  
請求書提出

11月2日 平成5年度民間芸術等振興費補助  
金(青少年等芸術普及)交付申請  
書提出

11月5日 生涯学習・社会教育関係法人調査  
東京都教育庁に提出

11月12日 定例理事会  
於布善俱樂部  
公演部会

11月20日 義太夫教室OB会運営準備会 同  
窓会発足(10頁参照) 於文明堂

11月24日 平成5年度民間芸術等振興費補助  
金(青少年等芸術普及)交付決定  
通知

24日 経理部会  
於布善俱樂部  
新入正会員オーディション

11月26日 教師のための義太夫講習会(文化  
庁助成)「義太夫節 仮名手本忠  
臣蔵」企画・構成・講演・景山正隆  
於国立演芸場

26日 平成5年度民間芸術等振興費補助  
金(青少年等芸術普及)概算払い  
請求書提出

12月2日 義太夫節保存会 平成5年度文化  
財保存事業東京都補助金交付申請  
書提出

12月3日 公演部会 於事務局

12月4日 「豊澤多美子追善 なでしこの会  
(義太夫協会協賛) 於永谷ホール

一昨年秋、48才の若さで逝ってしまった多  
美子さんを偲んで、女流義太夫の若手有志が  
追善演奏会を開催しました。会場には生前の  
演奏テープが流れ、仲間やお客様・友人など  
30人が多美子さんの思い出を寄せた小冊子も  
配られるという、すべて手作りの心こまやか  
な集まりでした。

清水市から上京されたお母様はじめ弟さん  
御夫妻、御親族の方々も、熱心に手向演奏に  
耳を傾けていらっしゃいました。

12月10日 常務理事会 於文明堂

昨年6月6日に他界された松尾武市常任相  
談役(大日本素義会会長)の奥様・雅子氏よ  
り常務理事会席上にて30万円の御寄付を頂戴  
いたしました。

10日 女流後継者育成事業 七福神研修  
(野澤喜左衛門師指導)  
於演舞場スペースアルファ

12月13日 邦楽連合会 於芸団協会議室

12月13・14日 女流後継者育成事業 熊谷桜  
研修(野澤喜左衛門師指導)  
於国立劇場

12月15日 普及部会 於布善俱樂部

12月22日 女流義太夫演奏会 第23回心身障  
害児のための特別公演(チャリテ  
ィ・NHK厚生文化事業団共催)

於国立演芸場

(チャリテイに御協力有難うございました。  
結果は次号にて御報告させて頂きます。  
尚、当日の演奏は実況録音され、後日NHK・FMで放送される予定です。)

12月24日 公演部会 於事務局

6年1月1日 義太夫協会会報第58号発行

### '93都民芸術フェスティバル

#### 第24回 邦楽演奏会

\*平成6年3月12日(土)

\*朝日生命ホール(新宿駅西口)

\*東京都助成特別料金一五〇〇円

邦楽連合会(義太夫・清元・古曲・新  
内・常磐津・長唄・三曲)主催の年一回  
の演奏会。第24回の今年、義太夫は:  
昼「艶容女舞衣 酒屋の段」12時

浄瑠璃・竹本 越 道

三味線・鶴澤 友 路

夜「関取千両幟 猪名川内の段」4時

おとわー竹本駒之助・猪名川一竹本朝重

鉄ヶ嶽一竹本素八・大坂屋一竹本佳之助

呼出し一竹本駒輝・三味線一豊澤源平

胡弓一豊澤幸治

\*お申込みは義太夫協会へ

## 義太夫教室の同窓会組織発足

## — 義太夫教室OB会

かねてより希望のあった義太夫教室卒業生の同窓会組織「義太夫教室OB会」が昨年11月20日発足し、まもなく入会受付開始です。情報交換、「義太夫教室OB演奏会」の主催などを中心に、親睦を深め、タテのつながりを強化すべく活動開始です。年会費3千円。

連絡先は 〒104 中央区京橋1-8-19

竹本 弥乃太夫方

電話 03 (3561) 5373

FAX 03 (3561) 5944

## 消息を御存知ありませんか？

## 義太夫教室OBの方々

義太夫教室は、只今第46期生が受講中です。2月26日の「義太夫教室OB演奏会」に向けて毎月曜日、スペース・アルファで稽古に余念がありません。

OBは、既に九百名に近づきつつあり、同窓会組織も誕生しましたが、左記の方々の住所が不明となっておりますので、御存知の方はお知らせ下さい。

(名前の後の数字は卒業期 敬称略)

熊谷ユキ (1) 千葉貴子 (5) 山田晴康 (7)  
高橋弘信 (24) 高橋三隆 (24) 森下卓雄 (24)  
渡部和夫 (24) 逢坂佑司 (25) 大矢真弓 (25)  
岡野敬一 (25) 立野成子 (25) 山崎隆一 (25)  
青木康男 (26) 在原三奈子 (26) 今井啓子  
(26) 坂戸勝 (26) 杉田さかえ (26) 鈴木徳一郎 (26) 長谷川靖 (26) 林良博 (26) 原登美子 (26) 平賀美智子 (26) 役山京子 (26)  
山田真規子 (26) 神田園子 (27) 斎藤裕 (27)  
高橋尚子 (27) 竹岡伸子 (27) 真島美弥子  
(27) 木下昭子 (28) 進藤都夫 (28) 中村晴康 (28) 西田延子 (28) 福井経正 (28) 松崎勇樹 (28) 水木紅車 (28) 山崎徳子 (28) 池菜穂子 (29) 北野直子 (29) 倉持整暉 (29)  
阿部すが子 (30) 川村和彦 (30) 小山雅子  
(30) 田中三郎 (30) 田中祥司 (30) 猪俣文江 (31) 阪口直一 (31) 千馬篤 (31) 永井正  
(31) 舟本文子 (31) 水木掬子 (31) 山崎正絵 (31) 河野誠子 (32) 長谷川圭子 (32) 迎裕子 (32) 村上佳子 (32) 和合清 (32) 渡辺陽子 (32) 伊村和子 (33) 加藤浪子 (33) 木内朋子 (33) 木村こずえ (33) 小林京子 (33) 酒井秀子 (33) 坂本とり (33) 高橋みどり  
(33) 津野まい (34) 寺田智代 (34) 服部

恵津子 (34) 松倉幸子 (34) 三村京子 (34)  
渡部晶子 (34) 安部淳 (35) 遠藤武作 (35)  
斎藤聖子 (35) 高橋潤子 (35) 町田孝子 (35)  
井田和美 (36) 金原亨駒之助 (36) 才目千晶  
(36) 菅原香織 (36) 竹下敏之 (36) 名生修子 (36) 野口春美 (36) 藪下朋子 (36) 若林あい子 (36) 伊東真裕美 (37) 川島通雅 (37)  
小泉豊次 (37) 鈴木房枝 (37) 玉置万里 (37)  
中村恵理 (37) 西本敬郎 (37) 扶瀬幹生 (37)  
松田真理 (37) 森下弘美 (37) 井上美則 (38)  
桑畑八郎 (38) 郷司美那子 (38) 坂本弓月  
(38) 鈴木克枝 (38) 中沢祥子 (38) 横関桂子 (38) 岸田千鶴 (39) 清川瑞枝 (39) 小林恵 (39) 近藤千賀子 (39) 重野安頭 (39) 高野丈邦 (39) 矢原千雪 (39) 山田麻由 (39)  
石田敦子 (40) 北村佐希子 (40) 後藤千香子  
(40) 松田純清 (40) 村山道宣 (40) 山本晶子 (40) 横山由紀子 (40) 石原由香 (41) 後平濤子 (41) 佐々田季司 (41) 永井香 (41)  
松永彩恵子 (41) 池田高明 (42) 大槻善之  
(42) 荻原秀雄 (42) 下條豊子 (42) 関容子  
(42) 高野尚人 (42) 永野裕子 (42) 堀切ミチ (42) 宮坂通 (42) 岩崎万里子 (43) 櫛原雅之 (43) 塩田祐子 (43) 森都のり (43) 脇村由起 (43) 小俣喜久雄 (44) 小島照夫 (44)  
中田善美 (44) 野崎晋 (44) 新井真 (45) 前田ゆきの (45) 渡辺千秋 (45)

※「義太夫教室OB会」の名簿作製にあたり、ひとりでも多く判明すれば有難いと思います。御協力下さい。

いろいろ計画しています

今年もよろしく



| 女流義太夫演奏会 国立演芸場 |     |             |   |
|----------------|-----|-------------|---|
| 年              | 月   | 日           | 曜 |
| 6年             | 1月  | 21日         | * |
|                | 2月  | 22日         | 金 |
|                | 3月  | 22日         | 火 |
|                | 4月  | 22日         | 火 |
|                | 5月  | 22日         | 金 |
|                | 6月  | 22日         | 日 |
|                | 7月  | 22日         | * |
|                | 8月  | 22日         | 水 |
|                | 9月  | 23日         | 金 |
|                | 10月 | 23日         | 月 |
|                | 11月 | 20日         | 祝 |
|                | 12月 | (公演はございません) | 日 |
| 7年             | 1月  | 19日         | * |
|                | 2月  | 22日         | 木 |
|                | 3月  | 22日         | 水 |
|                |     |             | 水 |

22日 6時30分開演が基本ですが、都合により日程・開演時間に変更になる場合がございます。

\*印 御注意下さい。

12月は会場改装工事のため休演です。どうかよろしくお願い申し上げます。

| 義太夫教室 第47期 初級入門コース |       |   |       |
|--------------------|-------|---|-------|
| 6年                 | 5月23日 | 月 | 6年    |
|                    | 5月30日 | 月 | 5月27日 |
|                    | 6月6日  | 月 | 6月3日  |
|                    | 6月13日 | 月 | 6月10日 |
|                    | 7月4日  | 月 | 6月15日 |
|                    | 7月11日 | 月 | 7月8日  |
|                    | 7月18日 | 月 | 7月15日 |
|                    | 7月25日 | 月 | 7月21日 |
|                    |       |   | 7月29日 |
|                    |       |   | 金     |
|                    |       |   | 金     |
|                    |       |   | 金     |
|                    |       |   | 水     |
|                    |       |   | 金     |
|                    |       |   | 金     |
|                    |       |   | 木     |
|                    |       |   | 金     |
|                    |       |   | 金     |

〈寄 贈〉

社団法人日本俳優協会様

歌舞伎に携わる演奏家名鑑

1

河向 淑子様

三味線棹・桐箱

神田外語大学広報部様

竹本素八叙勲記念女流義太夫演奏会写真

蘭田学園女子大学近松研究所様 紀要第4号

鶴澤慎治様 アガリ糸

高野俊雄様 忠臣蔵プログラム 5000部

同当日用プログラム 350部

女義ボスター台紙 800部

藤倉明治様 竹本朝重リサیتال写真 3

杉崎まつ様ご遺族様

義太夫かるた 107セット

「女流義太夫演奏会」は、別表のとおり。

義太夫協会の諸事業のおおよその予定が決まりましたので、お知らせいたします。

「義太夫の一日体験教室(語り)」

\*4月17日(日) 1〜3時 \*講師 竹本朝重

\*参加費 1500円 \*定員 40名

\*演舞場スペースアルファ

「三味線の一日体験教室」

\*4月24日(日) 1部 12時〜2時 2部 1

3時〜5時 \*講師 鶴澤津賀寿(予定)

\*参加費 3000円 \*定員 各30名

\*演舞場スペースアルファ

「義太夫教室OB演奏会」

\*2月26日(土) 11時〜7時30分

\*現在受講中の46期生の卒業発表と諸先輩たちの演奏 20数高座 \*東京証券会館ホール

\*入場無料

「義太夫教室」第47期初級入門コース

\*5月23日(月)〜7月29日(金) 6時30分

〜8時40分(全16回 日程は別表の通り)

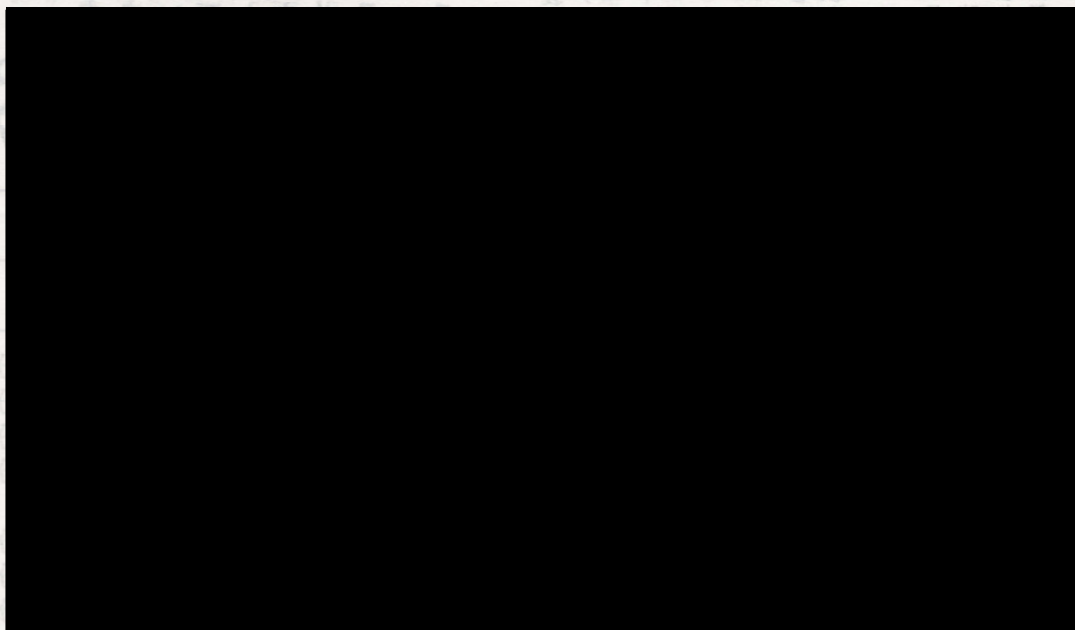
\*内容 語り実技実習・三味線手ほどき 講義(義太夫節の特徴・歴史・歌舞伎の義太

夫・名曲鑑賞・音調基本)

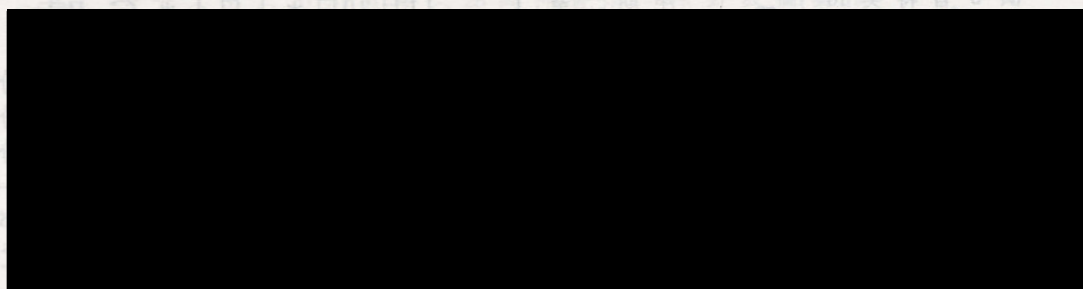
\*受講料 25000円(テキスト代共)

\*定員 50名 \*演舞場スペースアルファ

■■■■■■■■■■ 新入会員御紹介 (五十音順・敬称略) ■■■■■■■■■■ [ ]内は義太夫教室卒業期



■■■■■■■■■■ 住所 (住居表示) 等変更 ■■■■■■■■■■



【お知らせ】

◇象牙バチ売ります!!

若干ですが、お頒けできる象牙のバチがあります。御希望の方は、必ずお電話のうえ、事務所までお越し下さい。コマは全くありません。どこかに眠っているコマがあったらどうぞ御提供下さい。情報をお待ちします。

◇事務局の水野さん、昨年末で退職

昨年末をもって、事務局の水野悠子さんが退職しました。協会事務局が新橋演舞場に居を構えた時から、満20年と1ヶ月の在職でした。聞くところによると、演舞場に移る前にも発送等を手伝っていて、義太夫教室の第24期(昭和47年度)も知っていたとのこと! 協会は水野さんに豊澤仙廣賞を授与しましたが、「長く続けられたのは家族の理解あってこそ、仙廣賞は主人が受けるべきだったかも。賞金は山分け」だそうです。今後は義太夫協会の賛助会員になるんだと、後任の秋山寿美子に手続きをして貰って肩の荷を下ろした様子でした。長い間お疲れさまでした。

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。

昨年から、ベテラン・長老におめでたいニュースが続いたところへ、女流義太夫の初春公演では、五人の新人が初舞台という快挙!! 五人もの芸名を覚えられるだろうか、と早くも楽屋では戦線恐々(?)です。明るい話題で新しい年を迎えることができました。どうか本年もよろしくお願い申し上げます。